



地域密着型介護福祉施設 越路さくら

さくらだより

令和4年1月号 (第33号)

発行/地域密着型特別養護老人ホーム越路さくら
越路さくら認知症対応型デイサービスセンター
越路さくら在宅介護支援センター
発行責任者/施設長 中 伸之
黒部市荻生7120番2 ☎ (0765) 32-4811
ファックス (0765) 32-5612
発行日/令和4年1月1日
ホームページ <http://koshijisakura.e-294.net/>



地域密着型特別養護老人ホーム越路さくら

令和4年 年頭挨拶

理事長 松原 宗一



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、社会福祉法人緑寿会に格別のご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。役員、職員一同、深く感謝いたします。

さて、昨年は、新型コロナウイルスの影響で、1年延期されていた震災復興の東京オリンピック・パラリンピックが成功裡に開催されました。健常者は勿論、障害のある選手が堂々と、生き生きとプレーする姿に感動し、胸が熱くなりました。

介護事業も昨年度に引き続き、あらゆるサービスに新型コロナの影響を受けました。

現在のところ、法人運営、事業実施、財務執行の状況への大きな影響はありませんが、収束が長引いており、利用者や家族の関わりや職員のモチベーションの低下が懸念されています。

8月下旬に、新規感染者のピークを迎えた第5波に対して、新型コロナウイルス感染症が施設内で発症した場合を考慮して、面会中止や職員の行動自粛を維持しつつ、感染予防対策の徹底等、慎重に対応しました。

幸いにも、感染を防止することができ、これも、利用者やご家族、職員のご理解、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

10月下旬から小康状態に入り、今は、富山県内の新規感染者はゼロ状態が続いているので、12月から面会制限を緩和して、直接対面でご家族と面会できるようにいたしました。

しかしながら、新たなオミクロン株の感染への警戒が高まっていますので、感染状況を確認しつつ、臨機応変に対応していきたいと思えます。また、3回目のワクチン接種も計画されており、利用者、ご家族の皆さんとしっかり連携し、対応していきたいと思えます。

「敬・愛・信」を緑寿会の心とし、また、「地域社会への貢献、人権尊重の介護、職員の能力と人格の向上」を経営理念とし、新しい役員体制のもと、役員・職員一同、地域の介護福祉の充実のため取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

早期に、新型コロナウイルス感染症から日常生活を取り戻し、本年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



・・・クリスマス会・・・



**12月24日(金)は各フロアーでクリスマス会を行いました。フリンにて
コレーションして美味しいスイーツに仕上がりました。「甘くて美味しいわ」
と皆さん喜んでおられ、クリスマス会を楽しんでおられました。**

11月・12月・1月の誕生者

11月	紙屋 シガさん (98歳)	大勢待 みな子 (94歳)
12月	平野 正一さん (97歳)	齋田 セツ子さん (89歳)
1月	村井 雪子さん (84歳)	富山 富子さん (89歳)
	能澤 祐一さん (87歳)	滑川 みどり (87歳)
	宮崎 みよさん (89歳)	

寄付・寄贈ありがとうございました

松木 隆子



越路さくら認知症対応型デイサービスセンター



紅葉ドライブ



昨年は新型コロナウイルス感染症の流行のため中止となった紅葉ドライブでしたが、今年は感染状況も落ち着いていたこともあり1年ぶりに宇奈月ダムなどドライブへ行ってきました。皆さん「きれいやね」「ここまで来たの久しぶりやわ～」と喜んで下さいました。



運動会



今年の運動会も体調の確認や換気に気を付けつつ、全員マスクを着用し競技を行いました。玉入れや物送りなどチームで協力して競技に挑み、笑顔あふれる時間となりました。



作品作り



今年は折り紙を使用してクリスマスリースやクリスマスツリー、ベルなどを職員と一緒に作成しました。また、来年の干支の寅の置物も折り紙で作成しました、





おやつ作り・干し柿作り



10月のおやつ作りは蒸したサツマイモを使って簡単モンブランを作りました。12月はお好み焼き粉でパンケーキを作り黒蜜をかけて美味しく頂きました。

毎年干し柿作りも行っています。皆さんで柿の皮を剥きお天気のいい日に干しました。甘く美味しい干し柿は毎年大好評です！

越路さくら在宅介護支援センター

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。寒い冬の間は、外出や体を動かす機会が減ってしまいます。そこで、最近耳にすることの多い「フレイル」について、お話しします。

「フレイル」とは、加齢に伴って心身が衰えた状態を意味するもので、簡単に言うと、「健康な状態と要介護状態の中間」を意味します。

高齢になり活動量が減る→食事量が減る→筋肉量が減る→体力が落ちる→外出しなくなる→社会との繋がりが無くなる→より活動量が減る、という悪循環に陥ります。怖いですね。しかし、早い段階で気づき適切なアプローチを取れば、回復させることは可能です。またフレイルにならない様、日ごろから次の事を意識していきましょう。

- ★運動の習慣をつける
- ★食事をしっかりとる（歯のケアにも注意を払きましょう）
- ★病気の対策をしっかりと行う
- ★社会参加を進める



介護する側もされる側も、「元気でいたい」ですよね。その思いに寄り添ったサポートを、私たちもしていきたいと思っております。「こんな相談していいの？」と思う内容でも、まずは気軽に相談を！いつでもお待ちしております。

越路さくら在宅介護支援センター

電話 0765-32-5138

担当：長谷川、上田、能登、中瀬、高野

